

経営比較分析表（平成29年度決算）

愛知県宇和島市 宇和島市立吉田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12		訓練	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
77,329	8,866	第2種該当	1.3 : 1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
96	48	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	144
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
52	48	100

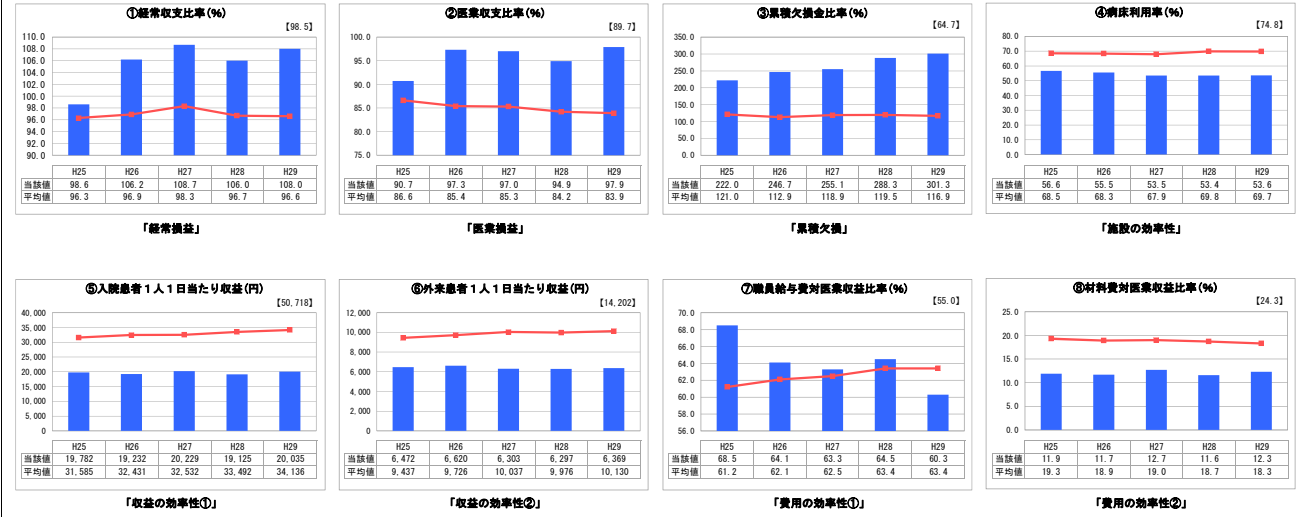
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審制病院

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割
宇和島市吉田地域における、入院機能を備える数少ない医療機関の一つであり、主に急性期を脱した後の回復期及び慢性期医療を中心として、地域医療の向上に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
平成15年度に11名の医師が平成16年度頃から次々と退職し、平成17年度2月に一般病床9床のうち44床を休床させた状態となった。平成25年度末では医師5名（専任医3名含む）まで減少し極めて深刻な状況にあり、結果として患者数の十分な確保ができず医療収益は減少している。ただし、それに伴い人件費・材料費等は減少してきており、加えて会計制度改正による長期前受戻入を計上したことにより、平成26年度以降は経営収支の黒字を達成している。事業収支率により累積欠損金は増加の一途を辿っており、追加で会計制度改正により平成25年度より計上不足額の退職手当引当金を分割計上することとしているため、平成29年度末以降は累積欠損金比率は20%を越えている。平成20年度末を以て分割計上は終了するものの、復讐的な非平準性を強しいる引当金の削減には至らない。医師の負担を軽減し、累積欠損を解消するためにも、医師の確保が急務であり、同時に患者単価の増加等、経営の効率化に取り組まなければならない。

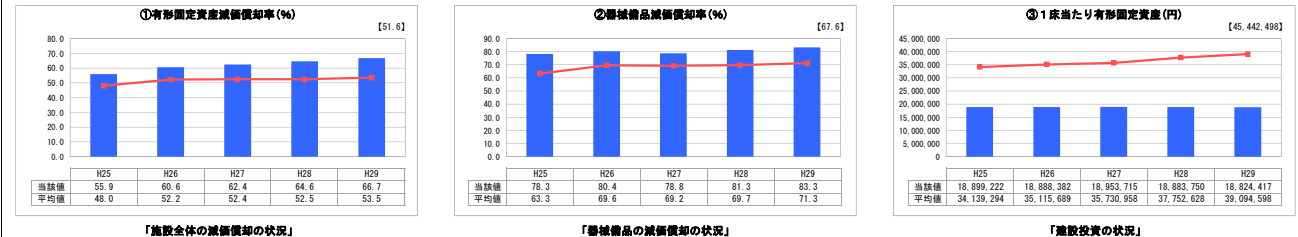
2. 老朽化の状況について

有形固定資産の減価償却率は類似団体平均値より高い。理由としては、施設の老朽化が進んでいること、医療機械の手当保全等きめ細やかなケアによる長寿命化などが挙げられる。また、昭和40年建築の病棟及び昭和56年建築の病棟については、耐震診断の結果、耐震強度が十分でないことが報告されており、今後の人口減少率や医師が不足している状況を踏まえ、適正な病院規模を検討しているところである。

全体概括

地域包括ケア病床の導入・増床等上位の施設基準を取得し増収策を行っているものの、深刻な医師不足・看護不足、人口減少により、収益の向上にはなかなか繋がっていないが、地域医療の維持・向上のため、引き続き経営の健全化に努めていく。

2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。